



ひびき



隔月刊

(題字 佐藤 寛)

令和7年5月31日号

特定非営利活動法人 福島・伊達精神障害福祉会 (通称：ひびきの会)
事務局：〒960-8055 福島市野田町2丁目5番9号TEL 024-563-7680 FAX 024-563-7685

往く春を惜しむ間もなく

理事長 相澤 與一

みなさん、今日は。ごかげんはいかがですか。よかれと祈念しています。おかげさまで、私は今のところ元気です。思えば、今日は端午の節句で、男の子のお祝いでした。ただし私のばあい、愛息はあの世なので彼の分も頑張るしかありません。

それにしても私にとってこの春は、松川堰堤の桜も観ないうちに散って葉桜となり、往く春を惜しむ間もありませんでした。それでも一瞬、注目をしたのは、おそらくはつがいなのでしょう、白鳥が二羽だけ、体調のせいで仲間よりも北への旅立ちが遅れたらしく、飛翔訓練なのか、翼を揃えて滑空をしていました。

さて、私は、非常勤で通常は施設に週三日通うたび、よかれと思って、昼からの2時間余りは、「ひびき」でメンバーと歓談したり、一緒にプレイしたりすることが多いのですが、盛んにNHKなどが報ずる戦争体験を気にして話しかける人がいます。彼は、危険を知らせるカナリヤのようです。

そういえば、今朝の午前4時からの「深夜便」の「明日へのことば」で、沖縄のある母親が「いのちのバトン」ということばに託して、子どもに平和をと語っていました。

しかし、戦争による人殺しが好きでもあるまいに、プーチンは侵略戦争をやめようとしなないし、トランプだって、カナダを合併するなど、不穏な侵略的暴言をくりかえしています。このように、いつでもどこでも、国際紛争は絶えないのですが、その解決に武力をもちいないと宣言しているのが日本国憲法の立場です。また実際、武力による国際紛争の解決は、ほとんど不可能なのです。

まったくレベルの違うはなしですが、ひびきの会にも、それを構成するメンバー一人一人にも、種々、難儀はあります。しかし、私たちは、協力・共同してその難儀を緩和するために努力しています。人事異動の補充と引き継ぎも、しゆくしゆく進めています。

私たちは、福島の県北における精神障がい者福祉会の老舗としての誇りと自信を持ち、なおいっそうお互いを尊敬しあい、協力・共同してみんなの福祉としあわせをつくるために努力したいものです。私も、その精神的支柱の一端をになえればありがたいと念じていますので、よろしくお願ひします。

施設代表 新年度挨拶

就労継続支援B型「ワークショップろんど」

所長 丸子 良明

ワークショップろんどでは、メンバーが自分の希望や目標に応じて主体的に活動しています。契約利用者は47名で、昨年より128名多い延べ7,985名、1日の平均利用は30名で安定した事業運営となりました。

R6年度は新規契約者の受け入れが困難な状況が続きましたが、2名が一般就労に就くことができました。授産品の販売については、委託販売を中心に行いました。

おべんとうのランチ提供は4,739食で昨年より327食増加。一般向けの店舗販売も好調で、短い時間ではありますが、金銭のやりとりやコミュニケーション能力の向上を目指しています。売上もおかげさまで昨年より200万円の増収となりました。

便利屋作業は定期的なアパート清掃に加えて、新規案件も獲得し好調でした。

平均工賃額は16,214円で昨年より480円増。お

べんとう、便利屋作業が増えた影響によるものです。

これまで要望が多かった送迎サービスを8月から開始しました。11月に新たに送迎車両を追加しました。現在送迎登録者は10名で8か月の間に2,018回の利用がありました。例年実施している運営懇談会は、前期は利用者のみで開催し、後期は利用者・ご家族・職員の総勢48名の参加で、活動状況の報告と職員家族との交流を行いました。

健康増進プログラムとしてウォーキングを実施していましたが、悪天候によって安定したサービス提供が出来ませんでした。

R7年度もご期待に応えられるよう利用者と一緒に運営して歩んでいきます。

地域活動支援センター「ひびき」

施設長 光家 由美子

地域活動支援センターひびきは、令和5年10月、施設移転後に8名の新メンバーを迎え、令和6年度は55名の登録となりました。新たな出会いを通して、皆さんの生活の一部となり安心して過ごせる場所の実現を図っています。

また、令和6年度は通所者の支援活動を軸に行うⅢ型事業所として、利用者の皆さんと新たなプログラム活動や行事の検討を行いました。利用

者の持ち込み企画をみんなで一緒にチャレンジしたり、利用者同士でお互いの出来ることを生かした自主的な活動へと発展途上です。

今後も、皆さんがホッとする環境を整え、寄り添った相談で日常生活の支援を行いながら、利用者・ご家族・職員が共に成長して行けるよう歩んでまいります。



グループホーム「風の樹」

管理者 武田 拓之

グループホーム風の樹は、1年近く空室となっていた一室も入居者が決まり、12名の定員が全て埋まった状態で令和7年度を迎えることができました。

利用者の皆さんは就労施設やデイケアなどでそれぞれの日中活動をしており、違ったライフスタイルを送っています。安心して休める自宅としての役割を果たせるように環境を整えていきたいと思っております。昨年度に大きな人員体制の変更があり、今年度も風の樹・Ⅱでの朝食の提供が終了となりました。朝食をとっていた利用者にとって大き

な変化だったと思いますが、少しずつ自分で朝食を準備する生活にも慣れてきているようです。そういった中でも普段の支援は変わらずに行い、回数は少ないながらもイベントは欠かさずに実施しています。普段の生活にプラスして小さな楽しみを提供したいと考えています。

今後も風の樹の理念である「安心」「安全」「安定」をモットーに、ニーズに応じた支援を行えるように職員一同支援に向き合ってまいります。

地域活動支援センター「leaf」

施設長 渡邊 純子

地域活動支援センターleafは、平成26年伊達市に開所し今年度で12年目を迎えます。

昨年度は同法人HANAの2階へ移転という大きな変化があり、新たなスタートとなりました。移転を理由に退所された方もいましたが、新規で登録となった方も3名いました。1日の平均利用人数は3名程度です。少人数の中でいつもの仲間と交流できる安心感も見られます。

昨年度のプログラム活動では、交流室が以前の場所より広がったこともあり、室内でできるスポーツを楽しむ時間が増えました。日頃の運動不足解消を仲間と一緒に、時には汗を流

しながら、心身のリフレッシュを図りました。今年度も体を動かす機会を多く作り、健康な体作りも考えていきたいと思えます。

leafでは、B型事業所に通所されている方や一般就労されている方の併用利用も多く、それぞれのペースで利用できる居場所となっています。力を抜いて気分転換できる場所になればと思います。

日々の利用状況は少人数ですが、leaf通所を通して体調の安定を目指し、継続して通所できる場所となるようにひとりひとりの目的に寄り添いながら支援していきます。

就労継続支援B型「HANA」

所長 鈴木 真理

令和7年度は、昨年度と同様に登録者23名、日々自主製品の製作、内職作業などの生産活動に取り組んでいます。昨年度末に職員の入・退職があり、職員は新しい顔ぶれでのスタートとなりました。

昨年度は年間延べ利用者3,344名の方が通所され、平均工賃は10,672円となりました。生産活動を振り返ると、初めて継続的な施設外就労で果樹園での摘花・摘果作業に参加したり、新しい内職作業に取り組んだり、新しいことにチャレンジした1年でした。また、昨今の物価高騰の影響や、材料の

仕入れの状況の変化から、今年度より、自主製品の価格改正も行いました。価格が変わっても、これまで以上に多くのお客様に製品を手にしていただけるよう、心を込めて製品の品質向上に努めて参ります。そして、生産活動を通して、利用者のみならず一人ひとりの目標を達成できるよう、スタッフ一丸となってより良い支援に努めて参ります。

日頃関わって下さる皆様や地域との繋がりを大切に、施設としてできることを模索し、より良い施設運営に努めて参ります。



法人事務局

事務局長 光家 由美子

ひびきの会の会員は、令和7年3月31日現在、一般会員(正会員)136名、賛助会員14名で、令和6年度末退会申し出者は8名でした。会員数の減少は本会の運営維持や今後の発展を危惧する要因となっています。関係者の皆様のご協力をいただきながら、ひとりでも多くの方にひびきの会の運営事業についてご理解とご支援を賜れるよう、法人事務局として会員増強に取り組んでいきます。

令和6年度の重点事業では「心の輪」チャリティーコンサートを実施しました。利用者のご家族を含め、多くの市民の方々も来場され、出演者と楽しい時間を共有することが出来ました。

また、ひびきの会は平成7年に地域家族会として活動を開始し、今年で30周年を迎えます。家族が支え合う家族会と、地域社会で目標を持ち安心して生活を送るための障がい者支援を職員一同、努めて参ります。

送迎サービス利用者さんの声



ワークショップろんどでは赤い羽根共同募金を頂いて、令和6年11月新たに送迎車両を追加しました。今回は送迎を利用しているメンバーさんの声をお届けいたします。

送迎車で、他のメンバーと待ち合わせして往復する幸せは、土曜開所の路線バスで片道を延々と渡ってくる時のことを思い返して感じることはありません。ものごとを通常のことにしてしまいがちの私には、送迎の時間は尊い時間で、乗り合わせているメンバーを見回してホッとするのは、1日の疲れと決別する時間です。このようなお休みをいただいている気持ちになれる時間をありがとう。 T. W

送迎があるおかげで、雨や雪や風の日など歩かなくてすむようになったので、とても通所しやすくなったので、とても助かるようになりました。ありがたいです。

I.S

私は家族に送迎してもらい通所していましたが、ろんどの送迎を利用するようになり、毎朝時間にゆとりができてとっても楽になり、すごくうれしいです。とくに冬はとても助かっています。

A.K

送迎サービスが始まり、ろんど利用をする中で、おにぎり作業や便利屋の作業など、体力を使う訓練に参加が楽になり、参加の機会が多くなりました。関係職員の方は、早く出勤したり、冬は雪下ろし等で大変だと思います。大変感謝して利用をしています。

M. S

ろんどの送迎はすごく助かっています。私は最初に乗って最後に降りるので、長い時間乗っていますが、それでも助かっています。

Y・Y

私は送迎を使ってよかったことは、自力で行くと疲れて次の日休んじったり、行くのが嫌になるかもしれない。でも送迎を使うことで家を出て職場に向かうことができます。

私は送迎を使って毎日楽しく通っています。

鈴木 このみ

今までは歩きとバスを使ってひびきの会に通っていましたが、送迎が始まって、すごい通所も楽になりましたし、14時半までいることができるようになってよかった。

Y.S

福島県立医科大学看護学部

「精神看護学Ⅱ 精神の健康問題をもつ人の理解」

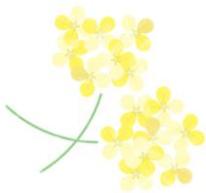
の特別講義を務めました。

4月8日(火)に福島県立医科大学看護学部より依頼を受け、看護学部3年次生の精神看護学Ⅱにおける「精神の健康問題をもつ人の理解」の講義に、当法人よりピアサポーターの菊地曜子さんが講師として体験談を発表されました。

医大体験談発表にて

菊地 曜子

今まで幾度となく発表はありましたが、今回の看護学生さんの前での発表は、初めてでした。発表前に田村先生が「発表はその人の人生であるから」と言われた事に、私はグッときて、そんな事を意識した事は今までなかったもので、自分でも意外で涙声になってしまいました。学生さんたちは、医療に携わるだけあって、熱心に聞いて質問してくださり、ありがたかったです。貴重な発表になりました。



新入職員紹介



【HANA】

小林 英典

2月1日付でHANAに入所いたしました小林と申します。住まいは伊達市で、家内と娘と愛猫2匹で生活しています。

これまで福島市の経済団体で36年間、企業の経営支援に携わる仕事をしてきました。50代後半を迎えて、これからは社会のために人と向き合った仕事がしたいと考え、昨年3月に退職し半年間介護関係の勉強を行い、その中で障害者就労支援B型の仕事を知り、今般HANAで勤務させて頂くことになりました。今後はこれまでの経験を活かし、業務に励みたいと存じております。

仕事の中で、一人ひとりが抱える悩みに寄り添い一緒に考えることがとても大切で、とても難しいと感じています。その難しさと対峙し悩みながら、メンバーさんと一緒に成長できればと考えています。

私はいつも「仕事は明るく元気に楽しく」を心がけています。そしてそれがメンバーさんや皆様の気持ちに少しでも伝わればと考えています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

お茶のまね会報告

五月連休明け、5月10日家族8名の参加で行いました。

<近況報告>

●連休中、息子は休まず仕事に行っていた。症状は日々異なり辛そうだった。主治医は「要休養の診断書出しましょうか」と言ってくれたが、先生と話す気分が良くなるという帰ってきていた。一方で夫の耳がより遠くなり、こちらのほうが大変になっているが家事をいろいろやってくれるので助かっている。

●3月から入院している。病院のホールで飼われている「亀」に癒される。

●5月清水病院が大原医療センターに移った。大きな箱物になり疲労感が大きかった。息子は待合室に座ってられないので何処かに行っている。呼ばれるまで気が休まらない。いつも楽しみにしていた角田先生の油絵が見られないのも残念だ。

●幻聴があって大声を出すことも多々ある。受診日には母親が「入院させてください」と言うのではと心配している。「入院させないから大丈夫だよ」との主治医の言葉に安心。入院させないでこのままいこうと思っている。

●12～3人の小さな作業所を利用。ドングリを磨いたりチラシ折りをしたり。スタッフ4人体制で本人にとって「よく話を聴いてくれるところ」になっている。相談支援専門員もつくことになった。ある段階からGH利用になるのかな……

●家じまいを娘とした。娘は業者さんにお茶を出したり何かと対応していたので驚いた。何かと口うるさく言っていたがもう任せようと思う。相談支援専門員、訪問看護とかがつかればと願っている。自身は自由度の高いケアハウスに入居した。

●母親と体操教室やお花見、俳句の会などに同行するようになった。夜間中学にも顔を出したりしている。

●ろんどの仕事を予約するようになったがドタキャンすることがある。「お母さんが悪い」「お母さんのせいだ」とひとのせいにするので、自立のために思わず「GHに行きなさい！」と言ってしまふ。普段はお互い会話はしないがたまに夕食時ビールを飲んで話すこともある。

●支援センターひびきをやめる、卒業することにした。集団の中で過ごすことはやはりストレスで、メンバーさんの顔を見てコーヒー、たばこで一服するくらいが限界。電話での弾丸トーク、怒りをぶつけてしまふ等、○さんには随分お世話になり助けられました。

★スタッフからは、支援センターひびきの運営が予算、職員数の面で十分機能できていないこと、どうしたら維持できるか苦慮しているとの報告がされました。その中で、当事者自身が自分たちでやることはやっていこうとの声が出ているということでした。

★ 次回は7月12日（土）10時 ～ 12時 地域活動支援センターダイルーム ★
～ 茶 話 会 ～

話すことはチョットという方も、聴くだけでも歓迎です。どうぞお気軽にお越しください。

「ひびきの会」あしあと

<令和7年>

- 3月4日(火) リーダー会議※
- 3月5日(水) 臨時実習教育会議出席
- 3月6日(木) いきいき共生推進委員会地域移行部会出席
- 3月9日(日) F-ACTOR出席
- 3月12日(水) HW事業所説明会出席
- 3月15日(土) お茶のまね会※
- 3月27日(木) 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会出席／
授産事業復興会 第2回理事会出席



- 4月8日(火) リーダー会議※
- 4月10日(木) GH連絡会出席
- 4月22日(火) 第1回自立支援審査会出席
- 4月23日(水) やさしくわかる！総務の基礎知識セミナー出席／
令和7年度第1回理事会※
- 4月24日(木) 福島県北地区障がい福祉連絡協議会定例会出席
- 4月30日(水) 赤い羽根共同募金配分交付式出席

※内部会議・会合

イベント情報

《ひびきの会》

☆お茶のまね会

7月12日（土）10:00～12:00

詳細は6頁を参照ください。

☆家族相談（要予約）

毎週火曜日 11:00～14:00

曜日時間は要相談

家族相談員が相談に応じます。
事前にご連絡をお願いします。

《HANA》

★道の駅ふくしま合同販売会

日時 6月21日（土）

時間 9:00～14:00

場所 道の駅ふくしま

★みんなのカフェあんさんぶる

日時 6月24日（火）

時間 11:15～13:15

場所 福島市市民センター

★フォーラム市場

日時 7月12日（土）

時間 10:00～15:00

場所 福島市市民センター前広場



5月31日（土）に開催した
令和7年度ひびきの会通常総会の様子は
次号でご報告いたします。

<編集後記>

会報編集委員会では年間6回の
「会報ひびき」を発行しております。
今年度も委員会一同力を合わせ、ひび
きの会の活動を皆様にお届けできるよ
うがんばります。(๑•̀_•́)๑!!

また、会報ひびき・各事業所のお便
りは、ひびきの会ホームページからご
覧いただけます。

会報編集委員会

<お問い合わせ>

ひびきの会事務局 TEL 024-563-7680

ワークショップ ろんど TEL 024-563-3304

支援センターひびき TEL 024-522-6886

HANA TEL 024-584-2920

leaf TEL 024-572-3770

<https://hibikinokai.sakura.ne.jp/hibikinokai/>

検索する場合は、

福島・伊達精神障害福祉会

と入力してみてください。

